



1/28 料理評論家 山本益博氏 蔵書を延岡市に寄贈

延岡市の食のまちづくりアドバイザーで料理評論家の山本益博氏が、同市に対し蔵書の一部を寄贈することになり、25日、駅前複合施設「エンクロス」で贈呈式と記者会見があった。山本氏は

料理や食材、料理人に関する豊富な蔵書の中から、手に笑顔で会見する山本氏（25日、延岡市駅前複合施設エンクロス）

、絶版本を含めて100冊以上を寄贈するとおり、既に贈られた一部が同日、エンクロスキッズベース2階に展示された。山本氏がこのよ

うな形で自治体に蔵書を贈るのは初めて。

山本氏は、市民が読書や勉強に打ち込んでいるエンクロスの雰囲気に印象を抱いているとい

ます。延岡には何度も来ていましたが、とても良い空気感はない。人が集まるこの空気感の中で、料理の本を開くといいんじゃないかとひらめきました」と理由を説明。

この日は洋書も含む西洋料理や日本料理に関するもの9冊が贈られた。フランス料理の大御所で紹介した塩野七生さんの著書も、蔵書からすべて寄贈するという。

山本氏は「自分で抱え込むよりも、こちらに寄贈させてもらつて皆さん

が活用していただけたらと思います。見るだけでも楽しいし、もちろん勉強になる本がたくさんあります」と内容を紹介。また「延岡駅を拠点に、強くなる本がたくさんあります」と内容を紹介。

山本氏によれば、駅前複合施設エンクロスでは、毎月開催される「重慶飯店」の回食会や、毎月開催される「中華料理の日」の回食会など、多くのイベントが開催されています。また、駅前複合施設エンクロスでは、毎月開催される「中華料理の日」の回食会など、多くのイベントが開催されています。

琴恵光闇 再入幕濃厚



九州場所を終えて帰省した琴恵光闇

来年については「いい取りたい」と強い意欲を
方向にしている。まだ成長します」。再入幕の可能性は高く「来年は幕内で勝ち越し、三賞を

方針に沿ってます。まだ成長します」。再入幕の可能性は高く「来年は幕内で勝ち越し、三賞を

渡ヶ嶽部屋、四十両筆頭)があると延岡に戻ってきた。2場所連続の勝ち越し。来場所は幕内から十両に陥落する関取が4人いるとみられ、西筆頭の琴恵光は、再入幕が濃厚だ。初場所以降に

意欲を語り、今年を振り返った。

大相撲「幕内で勝ち越したい」 1/28 今年6場所中5場所で8勝以上 延岡

名古屋場所だけ。それ以外の5場所は、9勝、10勝、11勝、9勝、今場所の8勝と勝ち越す好成績を残した。特に東十両2枚目だった5月(東京)場所では11勝と大勝ち、ここで初入幕を果たした。その今年について、「去年の目標は、幕内に上がるということが一つありますので、それができ、全体的には良かつたと思います」と総括した。

以下、琴恵光闇のインタビュー。

——幕内の土俵を名づけたか。
——一度、幕内の土俵を名づけたか。

——九州場所はどうでしたか。

——応援がすごかったです。声は聞こえていました。いろんな所から

感想深いものがあります。10年前の延岡場所の時は、琴欧州闇の付き人で参加させてもらいました。序二段から三段目だったときも、その時

ちゃんとじきて、15日間通して攻める相撲ができる。2日目の荒鷺(幕内)戦では、自分から攻めて自分の形で寄り切ること

ができた。12日目にも若隆景に攻めさせることなく、自分の形で攻めることができたのは良かった。

考えすぎて後手に回ることや、相手を見すぎてでも、いつも通りに取れています。

——延岡場所が近づいています。

——現在の状態は、体重は137、8kg

とも思っています。でも、幕内で勝ち越さないと意味がないとも思っているの

で、次の目標をしっかりとかなえたい。名古屋場所以外は、全体的には良かったかなと思います。

——黒まわしで土俵に上がるのと、で勝ち越さないと意味がないとも思っているの

で、自分の中では、去年目標にしていた幕内に上がったかなと思いました。と改めて思いました。

——今年はどんな一年でしたか。

自分の中では、去年目標にしていた幕内に上がったかなと思いました。前回

